

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
静岡県沼津地域	沼津市、清水町	平成 26 年度～令和元年度	平成 26 年度～令和元年度

1 目標の達成状況

【沼津市】

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成24年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	19,628t	17,886t (-8.9%)	19,177t (-2.3%)	25.8%
	1 事業所当たりの排出量	1.59t	1.45t (-8.8%)	1.88t (18.2%)	-206.8%
	生活系 総排出量	43,274t	39,180t (-9.5%)	39,333t (-9.1%)	95.8%
	1 人当たりの排出量	183.27kg/人	183.20kg/人 (0.0%)	184.82kg/人 (0.8%)	-2,214%
合 計 事業系生活系総排出量合計	62,902t	57,066t (-9.3%)	58,510t (-7.0%)	75.3%	
再生利用量	直接資源化量				
	総資源化量	17,605t (26.8%)	16,246t (27.2%)	13,990t (23.4%)	-850.0%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	-	14,706MWh	-	-
最終処分量	埋立最終処分量				

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成24年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目標 ※3	
総人口	205,887 人	189,500 人	192,644 人	-	
公共下水道	汚水衛生処理人口	98,464 人	122,506 人	103,624 人	21.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	47.8%	64.6%	53.8%	35.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
未処理人口	汚水衛生未処理人口	60,034 人	15,267 人	35,928 人	53.8%

※目標未達成の指標のみを記載。

【清水町】
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成24年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	2,025t	1,973t (-2.6%)	2,380t (17.5%)	-673.1%
	1 事業所当たりの排出量	1.25t	1.22t (-2.4%)	1.48t (18.4%)	-766.7%
	生活系 総排出量				
	1 人当たりの排出量				
	合 計 事業系生活系総排出量合計	8,939t	8,405t (-6.0%)	8,512t (-4.8%)	80.0%
再生利用量	直接資源化量	1,141t (12.8%)	1,051t (12.5%)	654t (7.7%)	1,700%
	総資源化量				
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	-	1,960MWh	-	-
最終処分量	埋立最終処分量				

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成24年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目標 ※3	
総人口	31,763 人	31,038 人	31,989 人	-	
公共下水道	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,604 人	4,031 人	2,541 人	-248.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	11.3%	13.0%	7.9%	-207.4%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	10,643 人	7,329 人	8,950 人	51.1%

※目標未達成の指標のみを記載。

【沼津地域】
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成24年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	21,653t	19,859t (-8.3%)	21,557t (-0.4%)	4.8%
	1 事業所当たりの排出量	1.55t	1.42t (-8.4%)	1.83t (18.1%)	-215.5%
	生活系 総排出量				
	1 人当たりの排出量	179.79kg/人	178.50kg/人 (-0.7%)	179.47kg/人 (-0.2%)	28.6%
合 計 事業系生活系総排出量合計	71,841t	65,471t (-8.9%)	67,022t (-6.7%)	75.3%	
再生利用量	直接資源化量				
	総資源化量	19,859t (26.5%)	18,001t (26.3%)	15,983t (23.3%)	1,600%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	-	16,666MWh	-	-
最終処分量	埋立最終処分量				

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成24年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目標 ※3	
総人口	237,650 人	220,538 人	224,633 人	-	
公共下水道	汚水衛生処理人口	115,980 人	142,184 人	124,122 人	31.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	48.8%	64.5%	55.3%	41.5%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	50,910 人	55,675 人	55,412 人	94.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	21.4%	25.2%	24.7%	86.8%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	70,677 人	22,596 人	44,878 人	53.7%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

【沼津市】

(ごみ処理)

○排出量

本市では、ごみ処理に関して沼津市一般廃棄物処理基本計画（令和3年度～令和12年度（中間年度 令和7年度））を策定し、今後の10年間の施策等を掲げている。この実施計画での施策は次のとおりで、事業系ごみ及び生活ごみの削減や資源化に向けて推進する。

・事業系総排出量及び1事業所当たりの排出量

新東名高速道路、駿河湾沼津サービスエリアや大型ショッピングモールららぽーと沼津のような大規模排出事業者の新店による事業系の排出量が増加したことが主な要因と考える。

・生活系総排出量及び1人当たりの排出量

新型コロナウイルスによる自粛時の家の片付けやテイクアウト商品の利用増加によるものが主な要因と考える。

○再生利用量

・総資源化量

民間市の資源回収ステーション増加に伴う市のステーションへの資源ごみ排出量及び集団回収量の減少が主な要因と考えられる。

(生活排水処理)

○公共下水道

・供用開始済み区域の人口減少により、供用人口を伸ばすために計画より多くの面積の整備が必要となったことが要因と考える。

○未処理人口

・市の中心部を狩野川が流れるなど、沼津市の地形的な特性から他市町と比べ下水道の効率的な整備が困難等、要因として考えられる。

【清水町】

ごみ処理)

○排出量

・事業系総排出量

町内の大規模商業施設の増床、老人介護施設等の新設により排出量が増加した。

○再生利用量

・直接資源化量

枝葉類の回収について、計量器がないため回収台数に係数をかけて重量を算出しているが、枝葉類回収事業開始以降、回収車両の変更とともに必要な係数の見直しを怠ったことから、数量の違算があったため。（目標値で約500トンの差）

*開始時係数：1台当たり1.25トン（箱ダンプ使用：H12～）→見直し係数：1台当たり0.40トン（ダンプ平積み：H22頃～）

(生活排水処理)

○合併浄化槽等

当町は全域が公共下水道事業による処理計画区域となっているため、公共下水道の整備に伴い下水道への切り替えが進む一方、単独浄化槽等から合併処理浄化槽への切り替えは進まなかった。

○未処理人口

公共下水道整備済み区域外の合併処理浄化槽への切り替えが進まなかったため、未処理人口の目標が未達成となった。

3 目標達成に向けた方策

【沼津市】

目標達成年度 令和7年度まで

(ごみ処理)

○排出量

本市では、ごみ処理に関して沼津市一般廃棄物処理基本計画（令和3年度～令和12年度（中間年度 令和7年度））を策定し、今後の10年間の施策等を掲げている。この実施計画で施策は次のとおりで、事業系ごみ及び生活ごみの削減や資源化に向けて推進する。

・事業系総排出量及び1事業所当たりの排出量

①事業系ごみの発生・排出抑制の推進 ②事業者への指導・助言 ③事業系ごみの適正管理・負担の推進

・生活系総排出量及び1人当たりの排出量

ごみを出さない生活や活動を推進する

①3Rに関する情報発信 ②リユースの推進 ③ごみに関する環境教育の推進・充実

④生ごみの減量・資源化の推進 ⑤使い捨てプラスチックごみ対策の推進 ⑥すまいるしょっぴ

○再生利用量

・総資源化量

広報紙や説明会などを活用し、生ごみや廃食油などのリサイクル品目についての分別精度向上を図る。

○エネルギー回収量（年間の発電電力量）

可燃ごみ等を衛生的、安定的に処理するとともに、発電等により熱エネルギーを効率的に利活用する施設を計画していく。

(生活排水処理)

○公共下水道

供用人口を増やすため、社会資本整備総合交付金を有効活用するほか、人口密集地の整備を優先することにより効率的な整備を進める。

【清水町】

目標達成年度 令和7年度まで

【清水町】

(ごみ処理)

○排出量

・事業系総排出量

資源可能物（古紙類等）の分別の徹底、食品ロスの削減の取組により排出量の削減を図る。

(生活排水処理)

○合併浄化槽等

当町は全域が公共下水道による処理計画区域となっているため、下水道事業の推進により汚水処理人口普及率の向上を目指す。

○未処理人口

当町は全域が公共下水道による処理計画区域となっているため、下水道事業の推進により汚水処理人口普及率の向上を目指す。

(都道府県知事の所見)

沼津市及び清水町ともに、計画期間内に目標を達成できなかった項目については、上記の方策を着実に実施し、目標達成に向けた努力を期待する。特に、現状（24年度）の量より上回っている項目については、更なる排出抑制及び分別の徹底に係る啓発の取組等の具体的な施策の実施を期待する。

県としても改善計画が着実に実行されるよう必要に応じて情報提供及び助言を行い支援していく。

生活排水処理についても、沼津市及び清水町ともに、目標達成に向けた充実した施策の実施を期待する。